

公共施設の再配置に向けて

—公有財産の利活用及び
処分等に関する検討委員会—

12月17日および1月21日、公有財産の利活用及び処分等に関する検討委員会で、公共施設再配置計画の骨子案について協議しました。市民の皆さんが不便にならないように公共サービスを維持した上で、公共施設の延べ床面積を削減していくことがこの計画の大きなテーマです。昨年、市内12会場で開催した市民ワークショップでの意見を参考に、委員からは活発な意見交換が行われました。
※内容の詳細は本市ホームページに掲載しています。



▲活発な意見交換を行う委員ら



▲アイデアが飛び交うグループワークの様子

通学の二部である路線バスより良い公共交通を考える

—公共交通教育学習—

12月18日、公共交通の課題や理解を深めることを目的に、農芸高校3年生を対象に公共交通教育学習を実施しました。京都大学大学院准教授や市職員が講師となり、利用者の減少によるバス路線存続の問題や維持にかかる費用などを説明しました。

日頃の通学で路線バスを利用する生徒も多い中、グループワークを実施。利用者の増加について検討し、さまざまなアイデアを出し合いました。

小中学生の目線で政策提言

—市長と語ろう
私たちのまちづくり—

12月20日、子どもたちの市政に対する興味関心やまちづくりの当事者意識を高めることを目的に、市議会議場を使って開催しました。会には、市内の7小学校と4中学校の11人が参加。児童や生徒らは質問席から西村市長や木村教育長に向けて、福祉や観光、地域振興など市の活性化に向けた小学生ならではのアイデアを発表しました。

発表の後、西村市長は「南丹市を良いまちにしたいという強い思いが伝わってきた」と講評しました。



▲アイデアを発表する児童



▲意見交流を行う委員ら

市教育の充実に向けて交流

—南丹市教育委員—

—社会教育委員懇談会—

1月30日、教育行政の決定機関である教育委員と文化やスポーツ、生涯学習などの社会教育事業を調査、提言する社会教育委員との懇談会が開催されました。

今回が初めての会議となり、両委員からは活動報告などが行われました。また、「互いの活動について理解が深まった」「学校教育と社会教育のさらなる連携を進めたい」などの意見が交わされました。両委員は今後も継続して交流を行う予定です。